

災害時情報交換 国土交通省と協定

— 迅速かつ的確な初動対応に向けて —



▲締結式の様子

大山町と国土交通省中国地方整備局は、「災害時における情報交換に関する協定」を7月4日に締結しました。

この協定は、大山町と国土交通省が連携を図り、住民の皆様の生命、身体および財産の安全並びに生活を確保するための迅速かつ円滑な対応を図ることを目的として締結されたものです。

この協定により、訓練、会

議など平常時から緊密な連携体制を整えたり、災害発生時には、初動段階から双方で緊密な情報交換を行なうことができるよう、協力体勢を整えます。また、必要に応じて大山町災害対策本部等に、中国地方整備局より現地情報連絡員（リエゾン）として職員を派遣していただき、迅速、円滑な情報交換、災害対応を図ります。

大山の恵みたっぷり！ おいしい牛乳たくさん飲んで

現在、全国の飲用牛乳消費量は、ペットボトルによる他の飲料やスポーツドリンクなどの消費が伸びた影響や少子化による影響もあって低迷しています。

「父の日に牛乳（ちち）を贈ろう」キャンペーンの一環で、大山乳業農業協同組合関係者

と大山町内の酪農家らが6月6日に役場を訪れました。日頃忙しく働くお父さんの代表として、森田町長に牛乳を贈り「地元で搾られた安全でおいしい牛乳をたくさん飲んでください」と消費拡大を呼びかけました。



▲牛乳で乾杯！

縁結びをサポート 結婚推進員を紹介します！



▲左から 鹿島繁雄さん、山根信子さん、田中泰蔵さん、吉岡一義さん、荒田 楠さん

本町では、若者の定住を推進するため、結婚に関する相談活動を行っていただく「結婚推進員」を募集しました。

応募された中から5人の推進員が決まり、7月1日に委嘱状の交付が行われました。推進員の活動は、結婚を希望する男女の情報収集や結婚相談など、若者の結婚の後押しです。

◆結婚推進員事業に関する問い合わせ先

企画情報課
☎ 0859・54・5202